

温泉の利用状況について

泉 質： 単純硫黄温泉（低張性 弱酸性 高温泉）

温泉成分の特徴： 独特の硫黄臭がします。硫黄分を多く含んでいるため、お湯が白濁します。血管拡張作用があります。
（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量： 54℃ ー ーリットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H29.12.29）

浴槽の種類とその状況： 内湯、露天風呂、家族風呂（全て温泉水を使用）

循環、かけ流しの状況： かけ流し式
（浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。）

加水の状況： なし（浴槽に水蛇口は設置してあります。）

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： 内湯は5～6時間で入れ替わります。
露天風呂は6～7時間で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜き、清掃しています。

浴槽水の消毒状況： なし

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に2回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成29年12月29日

施設名 ふもと旅館

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会